

奄美野生生物保護センター
ニュースレター

奄美の風だより



2016/1/24 湯湾岳

今年は寒暖差が激しい冬だったと思います。奄美大島では115年ぶりに雪が降ったり、春のような陽気が訪れ半袖で過ごしている方もいたり、体力的になかなかしんどかったです。

さて今回は、マイブームであるコウモリのお話を少ししたいと思います。奄美群島には9種のコウモリが生息していますが、生態は謎に満ちたものが多いです。

現在、センター職員でバッドディテクターを使いコウモリ調査をしています。バッドディテクターとは、コウモリが出す超音波を人が聞こえる可聴域に変換してくれる機械です。

調査はまだまだ進んでいませんが、いくつか分かったことがあります。図鑑には当てはまらない音域を出す謎のコウモリがいるということです。本州などに生息するコウモリが奄美大島にも生息していることは分かっています。しかし、全く同じとは限りません。例えばハシプトガラスとリュウキュウハシプトガラスのように、地域によって少しだけ形質が異なる亜種となることがあります。もしかして、この謎のコウモリも亜種なのか。はたまた全く別の新種なのか。

名前は知られているけど生態は詳しく調査されておらずよく分からない、という種がまだまだたくさん奄美にはいます。みなさんの観察から新しい発見があるかもしれません。気づいたことや気になることをメモにとっていくだけでも、とても貴重な記録になりますよ。 (吉田)

今の時期に見られる動植物



ホオジロハクセキレイ
冬鳥。ハクセキレイの亜種。名前のとおり、頬が白い。ハクセキレイのように眼の所に黒い線がない。



ギンムクドリ
冬鳥。以前は数少ない冬鳥・旅鳥として記録されていたが、近年は増加傾向にあり、農耕地や集落周辺での観察例が増えている。



リュウキュウウマノスズクサ
奄美大島以南に生える琉球列島の固有種。花は筒状で、紫色の部分は花弁ではなく萼が広がって花弁状になったもの。



ナンバンキブシ
低地から山地のやや湿気のある林縁などに生える。花は総状花序で下を向いて開く。



アマミアオガエル



ヒメアマガエル



オットンガエル



アマミハナサキガエル



アマミシカワガエル



ハロウエルアマガエル

今季の一枚 「カエルの卵」

奄美群島には9種類のカエルが生息しています。今の時期に鳴いているのは、ハロウエルアマガエル、アマミシカワガエル、アマミハナサキガエル、アマミアオガエル、リュウキュウカジカガエル、ヒメアマガエルです。種類によって卵の形が違うのは皆さんご存知でしょうか。あわあわの卵やツブツブの塊、ゼリー状のものとはさまざまです。この時期はたくさんのカエルの卵を見ることができますので、見比べてみて下さい。



奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。



今回は 与論町 です



アイギ浜

与論島は、鹿児島県最南端に位置し、隆起珊瑚礁のコーラルリーフで囲まれたエメラルドグリーンの海が魅力の小さな島である。



与論の花【ハイビスカス】

ハイビスカスは、赤のほかピンク、黄色など様々な種類があり、神棚に供えることからトートゥバナ（尊い花）とも呼ばれている。



おすすめの観光スポット & 自然環境への地域取り組み紹介



与論島には趣の異なる 60 の美しい砂浜がある。その一つ「百合が浜」は、潮流により作られた沖合に浮かぶ白い砂浜。そこで年齢の数だけ星砂を拾えば幸せになれるという言い伝えがある。

アイギ浜では、カヌー、ヨット、スタンドアップパドル、ウィンドサーフィンなど多種多様なマリンスポーツが楽しめる海の上から眺める与論島は普段陸地から見て



いる景色と違い味わい深いものである。運が良ければウミガメとの遭遇も。その他にも泳いで小島に渡れる皆田離。島内住民に人気のウドノス海岸などサンゴ礁に囲まれた穏やかな海の中は、色とりどりの魚が泳ぐ天然の水族館。潮が引けば歩きながら水中の生物を見て楽しめる。

そんな美しい海を守るために、与論島では様々なボランティアの方々が海岸清掃活動を行っている。その一部の団体に「美ら島プロジェクト365」を企画している「誇れるふるさとネットワーク」がある。彼らは、こどもや孫が「ここで生まれて、あるいは育てて良かった！」と誇れるふるさとを目指すために、毎朝 365 日海岸の清掃を行っている。最初は 1 名でスタートした企画であったが、今では島民はもちろん Facebook などで共感してくれた観光客など年間延べ 3,000 名以上が参加している。現在、与論島の海岸を清掃して 12 週目に入っている。



与論島の自然を今より美しく未来へ。みんなに見せたい島がある。みんなに見せたい海がある。

【与論町 環境課】



いきもののふしぎ ~ ザトウクジラのお話 ~



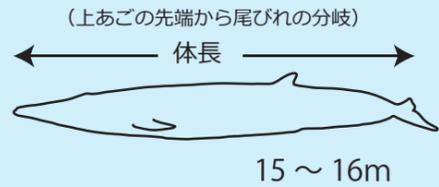
ザトウクジラが見られる季節となりました。大きな体を海面に突き出して大きくジャンプをするブリーチは圧巻です。最近注目度がアップしているザトウクジラを紹介します。



ポイント ザトウクジラとは？

クジラ目ヒゲクジラ亜目ナガスクジラ科。世界の海洋に広く分布。沿岸域でもよく観察され、ホエールウォッチングで親しまれている。奄美群島では冬の時期に見ることができる。

ザトウクジラの形態



潮ふき（ブロー）

呼吸のため、噴気孔を海面上に出し、息を吹き出したときにできるもの。この潮は周りの海水や肺から出る湿った空気。ブローの形は種類によってちがうため、ブローで種類を見わけることができる。



尾びれや胸びれ、ウネにはフジツボなどの外部寄生動物がたくさん付着している。

★ 噴気孔：人でいうと鼻。ここで呼吸をする。種類によって位置がちがう。



★ 胸びれは、体長の3分の1の長さをもつ。

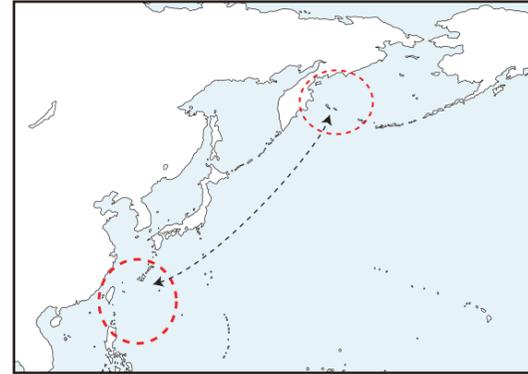
★ 歯がなく、かわりにヒゲ板がある。



★ ウネ：あごからおへそのあたりまで、長い溝が何十も通っている。エサを捕る際、アコーディオン状に大きく膨らむ。

回遊

ザトウクジラは、季節ごとに移動しながら生活しています。



夏の間はエサが豊富に食べられる冷たい海まで北上します。とくに奄美や沖縄で見られるザトウクジラはカムチャツカ半島沖やベーリング海峡に移動します。冬になると交尾や出産、子育てのために奄美・沖縄・フィリピン北部の暖かい海まで南下します。



行動

ザトウクジラのさまざまな行動を紹介します。



ブリーチ

体を水面から出す大きなジャンプのこと。体に付いた寄生虫などを落とすためと言われてはいますが、くわしいことはわかっていません。ときには全身が海から出ることもあります。



胸びれを使った行動

横向きになり胸びれで水面をたたいたり、あお向けになり両びれを水面にたたきつけるベックスラップとよばれる行動があります。



尾びれを使った行動

尾びれを上下に動かし水面にたたきつけるテールスラップ、上下左右に動かし水面にたたきつけるペダンクルスラップとよばれる行動があります。



ザトウクジラの歌♪

主に繁殖期にオスのみがとても長く複雑な歌を歌います。求愛のためだと思われていましたが、最近の研究では、他のオスの注意を引く意味もあることがわかってきています。



尾びれ

ザトウクジラは深くもぐる際、尾びれを海面上にあげてからもぐっていきます。尾びれの腹側の模様は1頭ずつちがうため、個体識別ができます。



個体識別をするために撮られた写真です。2015年は出現頭数327頭、個体識別頭数170頭(奄美大島にて)となっています。今シーズンはどれくらい現れるでしょうか。楽しみます



第16回やせいのいきもの絵画展【賞状授与式】

とき：平成27年12月19日（土）

今年のテーマは「奄美の生きものをアップで見たら」。子どもたちに生きもの細部まで見てもらおうと、このテーマにしました。応募総数356点の中から12点を選出し、入賞者に賞状と副賞を授与しました。



オオトラツグミー斉調査

とき：2016年3月20日（日）

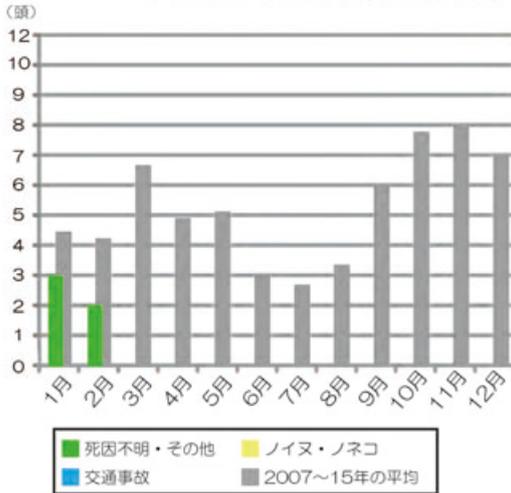
場所：奄美中央林道、油井岳、スタルマタ林道、住用ダム

NPO 法人奄美野鳥の会主催で毎年行われている一斉調査。今年は142名の調査ボランティアが参加し、オオトラツグミのさえずりに耳を澄ませました。天気が良く風もなかったため最高のコンディションでした。生息環境が回復していること、またコンディションが良かったこともあり、奄美中央林道では過去最多の106羽を確認することができました。



アマミノクロウサギ死体確認数

(2016年2月末日時点の
アマミノクロウサギの死体確認数と死因)



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。



奄美に住む動物たちのために、あなたができること

安全運転

特に夜間の林道ではゆっくり走行しましょう。

犬・ねこの適正飼育

野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べしてしまうこともあります。

① 捨てない

最後まで責任をもって飼いましょう。

② 避妊・去勢手術

繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないこと、ペットの健康を守ることにあります。

③ マイクロチップ

ペットの確実な身元証明になります。



④ 放し飼いをしない

ねこは室内飼育、犬は室内もしくはリードをつけて外で飼いましょう。

🐾 犬・ねこに関するお知らせ 🐾

ペットに対する、日頃からの災害の備えをしましょう。災害時に動物を守るためには、まず飼い主が無事であることが大切です。その他には、迷子になった時のためのマイクロチップや迷子札の装着。エサや薬など備蓄品の用意もおきましょう。また、ケージがあると避難する際や避難場所です役立ちます。

いきものおもしろ写真館



リュウキュウマノスズクサ

萼が開いていない状態を正面から撮った写真です。萼が開いている写真は「今の時期に見られる動植物」で確認して下さい。萼が開いた状態でも不思議な形の花ですが、閉じているともっと摩訶不思議な形です。初め見たとき、花とも思えず一体なんの物体かと思いました。



編集後記

アマミノクロウサギのモニタリング調査に同行しました。この調査でしか行くことが出来ない溪流は、年1回の楽しみです。ゼエハアゼエハアと日頃の運動不足を後悔し、斜面で足を滑らせ泥にまみれ...そんな苦勞の先にあるのは、どんな場所にも負けない奄美の絶景です。来年はどんな絶景に出会えるか楽しみです。